

別記様式第1号（第4条関係）

木津川市子ども・子育て会議 開催結果要旨

会 議 名	令和6年度第3回木津川市子ども・子育て会議		
日 時	令和7年2月18日（火） 午後2時00分～午後3時00分	場 所	木津川市役所 庁舎第二北別館
出 席 者	委 員	別紙のとおり	
	その他出席者	なし	傍聴人の数 なし
	庶 務	こども未来課	■公開 □非公開 □一部非公開
議 題	1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 （1）第3期木津川市子ども・子育て支援事業計画の素案について 【資料1－1】【資料1－2】【資料1－3】 （2）その他 令和7年度保育施設申請状況について【資料2】 令和7年4月1日木津川市組織改正について【資料3】 4 閉会		
会議結果要旨	1 開会 事務局より、開会宣言。市長あいさつ及び各委員紹介は、短時間での会議を執り行うため、割愛させていただく旨のお詫びと、会議成立要件定足数の報告。 子ども・子育て会議は、子ども・子育て支援法、木津川市子ども・子育て会議条例を設置根拠として設置される市の附属機関である旨等説明。 2 会長あいさつ 本日は令和6年度第3回木津川市子ども・子育て会議の開催にあたり、公私ともにご多忙のところご出席を賜りありがとうございます。今回の会議では、第3期木津川市子ども・子育て支援事業計画の最終案を提示させていただくので、忌憚のない意見をお願いしたい。なお、署名委員は出席委員の中から指名させていただくことになっているため、本日の会議録の署名委員については、中西委員を指名させていただく。 4 議事 主な意見・質疑等はつぎのとおり		

(○：質疑・意見 ⇒：質疑に対する返答)

(1) 第3期木津川市子ども・子育て支援事業計画の素案について【資料1-1】【資料1-2】【資料1-3】に基づいて説明。

第3期木津川市子ども・子育て支援事業計画パブリックコメント回答案への意見を求めるもの。

【質問・意見】

○学校教育に係る意見について、計画への反映がない理由は。

⇒意見の多くが教育施策に関する意見・提案であり、計画に関する意見、提案は少なかった。そのため、計画への反映件数は少なくなっているが、施策への反映は、校内教育支援センターなど反映されていると考えている。

○木津川市では不登校の生徒はどれくらいいるのか。また、校内教育支援センターの内容は。

⇒具体的な人数は手元に持ち合わせていないが、全国的な傾向と同様に、増加傾向にある。令和5年度には教育支援センターを新たに加茂小学校に配置したが、増加する不登校に対応するため、令和7年度からは各小中学校の空き教室を利用して校内教育支援センターを設置する予定。学校には行けるが教室には入りづらい、そういった生徒が安心して利用できる教室になると考えている。

○不登校の生徒数はどうやって知ることができるのか。また、学校に行けない生徒の行き場はどう確保するのか。

⇒令和5年度の不登校の生徒数は、小学校で約90人、中学校では約150人となっており、令和6年度ではさらに増加している。学校に来ることができない生徒への対応については、パブリックコメントで意見のあったフリースクールへの助成について検討をしながら、教育委員会としては学校とのつながりを途切れないう努めることが必要であると考えている。

(2) その他

「令和7年度保育施設申請状況」「令和7年4月1日本津川市組織改正」について、【資料2】【資料3】に基づいて説明。

【質問・意見】

○特になし。

	5 閉 会 事務局健康福祉部山本部長あいさつ 本日はご多忙の中、会議に出席を賜り、改めてお礼申し上げます。本日の審議の中で確認いただいた「第3期木津川市子ども・子育て支援計画」については、現行の計画を継承しつつ、こども大綱の内容を反映し、今後策定を予定している「こども計画」を意識して策定を進めている。本日いただいた意見を踏まえ、こどもの視点を尊重しながら計画を推進していきたいと考えている。 新たに創設される「こども未来部」については、こどもから若者まで支援が途切れることがないよう一体的なこども施策を推進するため、組織体制を見直すものである。 計画の基本理念「こどもたちの笑顔を未来へ」を実感できるよう施策を展開していきたいと考えている。引き続き、市政へのご支援ご協力を賜るようお願いする。
その他特記事項	特になし
署 名 欄	木津川市子ども・子育て会議 会長 <u>安藤 和彦</u> 木津川市子ども・子育て会議 委員 <u>中西 由美</u>